

「INFECTION CONTROL」では、病院感染防止のために日頃ご活躍されているナース、医師、薬剤師、検査技師、その他のコメディカルの方々の誌面へのご参加をお待ちしております。随時、ご投稿ください。

### ◆ 投稿規定

- 投稿原稿の採否は「INFECTION CONTROL」編集委員会および編集部で行います。採否の判定に、一定の査読期間をいただくことがございますので、あらかじめご了承のほどお願いします。また、頁数の関係上、採択後に掲載までお時間をいただくことがございます。
- 編集の都合により原稿の加筆訂正をお願いする場合がありますのでご了承ください。なお、採否にかかわらず原稿は返却いたしません。
- 掲載原稿につきましては、執筆者宛に掲載誌1部と別刷30部をご郵送させていただきます。
- 他誌に投稿中・投稿予定の原稿はご遠慮ください。また学会等に投稿済み・投稿予定の内容に関しましてもその旨を明記ください。
- 本誌に掲載された論文・記事の著作権は執筆者ご本人に帰属いたします。ただし、複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は当社にて所有・管理させていただきます。
- 執筆に際しましては、「執筆規定」を遵守してください。
- 原稿の送り先／〒532-8588 大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F  
株式会社メディカ出版「INFECTION CONTROL」編集部
- Eメールアドレス／infection@medica.co.jp

### ◆ 執筆規定

- 1) 表題、著者名、肩書き、連絡先は1枚の用紙にお書きください。
- 2) 原稿は本文6,000字以内、常用漢字（ただし通常用いられる専門用語は常用漢字以外も使用します。  
例：動脈りゅう→動脈瘤）、新かなづかいとし、数字はアラビア数字、数量は単位記号（原則としてSI単位）を使用してください。
- 3) 外国語はタイプまたは活字体ではっきりお書きください。人名、地名など、固有名詞の最初の文字、略語は大文字（例：London、TPNとし、その他は小文字で表記します。また、難解な語は訳語を（ ）内に記し、すでに日本語として定着した語（例：カテーテル、バイタルサイン）はカナ書きにしてください。

- 4) 薬品名は一般名を用い、商品名を使う場合は一般名のあとに®を付け、（ ）内に書き入れてください。  
例：ドブタミン（ドブトレックス®）
- 5) 細菌名はイタリック体としますので、アンダーラインでお示しください。（例：Pseudomonas）
- 6) 図表・写真は適宜ご挿入ください。図1（写真も図として扱う）、表1のように表記し、キャプションを付けてください。  
引用転載の場合は著者名、書名または雑誌名、頁、刊行先、発行年を明示してください。また著作権上必要と思われる際は、あらかじめ著作権者の了解を得てください。原著者との交渉は執筆者にてお願いします。
- 7) 引用文献は本文引用箇所の右肩に番号をつけ、下記の要領で本文末尾に一括しておまとめください。  
<雑誌>著者名、論文名、雑誌名、巻数（号数）、出版年、はじめのページ-おわりのページ。  
例：梶田健、脳血管内治療：ステント治療について、脳神経外科速報、10（10）、2000、593-8。  
<書籍>著者名（訳者・編者）、論文名、書名、編者名、出版地、出版者、出版年、はじめのページ-おわりのページ。  
例：石川欽司、薬物療法の効果と限界：心筋梗塞二次予防の立場から。冠動脈疾患の治療。岩坂壽二ほか編。大阪、メディカ出版、1996、29-34。  
\*著者名は1人までとし、それ以上は「ほか」または「et al」としてください。  
\*和文誌名は原則とし省略せずに完全誌名で、また、欧文誌名は国際的慣行に従って、略記してください。
- 8) パソコンでご執筆される場合は、使用形式（あるいはソフト）名を明記し、Eメールでお送りいただいたうえで、プリントアウトされた原稿をお送りください。
- 9) 写真（プリント、スライドとも）は、使用後にご返却いたします。
- 10) 以上の規定に基づき、読者にできるだけ理解しやすく読みやすくするために、元の文意を損なわない範囲で一部字句の修正や表記の統一をお願いする場合があります。あらかじめご了解ください。